

平成 29 年度 第 276 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 13:30～14:10
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

- 配布資料**
- 1 欠員補充申請書 (情報総合センター)
 - 2-1 新社会人教育開設に向けた取組みについて
 - 2-2 新社会人教育開設準備委員会規程 (案)
 - 3 大学院担当教員の資格審査結果について

第 1 号 教員の採用について

* 資料1のとおり、情報総合センターからの申請に基づき、平成29年10月31日付で退職する米谷雄介助教の後任として、教育工学分野担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

- 当該ポストは、教育研究活動の活性化や大学運営の効率化に資する情報基盤の様々な整備を担当するだけでなく、IRの整備・推進にも積極的に関わることであり、その取組みの推進を担う教員の採用を申請するもの。当該教員のポストを助教から准教授または講師に変更することについては前回の教育研究審議会で承認済みである。
- 当該ポストがIRの整備に関わることについては、公募の段階で明示する予定である。
- 担当科目として情報教育科目「データ処理」をあげているが、カリキュラム再編により、科目変更の可能性があるのではないか。
- 基盤教育センターとも協議しているが、カリキュラム再編で科目が変更になった場合は、新しい科目を担当してもらうことになる。
- 実務教員の場合、昇任の際にどのような業績を評価するのかが問題になる可能性があるため、選考委員会は留意してほしい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 新社会人教育開設に向けた取組みについて

* 資料2-1, 2-2のとおり、新社会人教育開設準備委員会の設置について提案。

- アクティブシニアを含めた社会人の学び直し、キャリアアップを支援することを目的として、平成31年4月を目途に新たな社会人教育を開設するため、学内の推進組織である新社会人教育開設準備委員会を設置するもの。
- 面接等試験とあるが、所管組織はどうなるのか。
- これからの検討事項だが、成績で選抜というよりは、面接を中心に、志願者の学びたい内容が大学の提供しようとするものと合っているかを確認することが重要になるので、必ずしも広報入試課が所管となるわけではない。
- 民業圧迫にならないか。
- 大学レベルのものを提供することで差別化を図っていく。
- 5つの分野をあげているが、大学が提供する科目の内容と、アンケート回答者が分野名によってイメージする内容に差があるのではないか。
- アンケートでは、分野ごとに、科目名を5つ程度並べて、分野の内容をイメージできるように

して実施した。

- 採算の見通しはあるのか。
- 地域創生学群の社会人選抜枠（夜間枠）を通常枠に振り替え、その授業料収入の増加分を充当することによって、計画どおりの人員が入れば、平成34年度には黒字に転じる見込みである。
- 社会システム研究科との関係はどうか。
- 社会人教育の受講者には、社会システム研究科への進学を推奨できればと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 大学院担当教員の資格審査結果について資料3のとおり、報告があった。
- ② 研究不正防止研修を教員必修研修として10月18日に実施する予定である旨、報告があった。
- ③ 平成29年12月19日の審議会をひびきのキャンパスで開催する予定である旨、報告があった。
- ④ 次回の審議会を平成29年10月17日（火）に開催する予定である旨、報告があった。